DNPグループ環境データブック2026

Year ended March 31, 2026

DNP

未来のあたりまえをつくる。

DNPグループ環境データブック2026

最終更新: 2026年10月

【対象期間】

原則として2025年4月1日より2026年3月31日までの活動について報告しています。また、海外拠点の一部は、2025年1月1日より12月31日の1年間の活動を対象としています。
ただし、一部の重要な事実については本対象期間外の報告も含まれています。

【環境データ集計範囲】

集計範囲は、大日本印刷および財務会計上の連結対象会社（国内・海外）です。なお、項目ごとに集計範囲が異なる場合は、各項目に個別に記載しています。

【第三者保証】

信頼性を確保するため、LRQAリミテッドによる第三者保証を受けました。第三者保証を取得している2025年度データに ★ を付けています。

第三者保証声明書

【目次】

E00 環境目標と実績
E01 気候変動への対応
E02 資源循環
E03 水資源の有効活用
E04 環境配慮製品・サービス
E05 汚染防止
E06 化学物質管理(PRTR制度対象化学物質一覧)
E07 環境マネジメント関連
E08 認証取得状況
E09 環境会計
E10 製造拠点（国内・海外）

※各シートのデータは、四捨五入により合計が合わない場合があります

E00_環境目標と実績

評価基準　◎:目標を大幅に上回る成果があった　○:目標を達成した、または順調に推移
△:積極的に取り組んでいるが、目標達成に至らなかった　×:取り組みが不十分

テーマ	中長期目標　GHG排出量削減は2030年度および2050年まで それ以外は2030年度までの目標	2025年度実績、BM年度からの削減率			評価
GHG排出量削減	Scope1+2排出量を2030年度までに2019年度比46.2%削減（SBT） Scope1+2排出量を2050年度までに実質ゼロを目指す	2019年度実績	1,062千トン-CO_2e	2019年度比 32.3%削減	◎
		2025年度実績	719千トン-CO_2e ★		
	Scope3排出量（カテゴリ 1,3,4,5）を2019年度比27.5%削減（SBT）	2019年度実績	3,556千トン-CO_2e	2019年度比 18.3%削減	◎
		2025年度実績	2,904千トン-CO_2e ★		
輸送環境負荷削減	輸送用燃料使用量売上高原単位を毎年1%削減し、2019年度比11%削減	2019年度実績	1.28kℓ/億円	2019年度比 24.9%削減	◎
		2025年度実績	0.96kℓ/億円 ★		
資源循環率向上	不要物全体で資源循環率*70%を達成 *紙有価物量等を除外した不要物のうち、マテリアルリサイクルまたはケミカルリサイクルされた割合	2025年度実績	65.9% ★		◎
水使用量削減	水使用量売上高原単位を2019年度比30%削減	2019年度実績	6.73m^3/百万円	2019年度比 11.6%削減	△
		2025年度実績	5.95m^3/百万円 ★		
環境配慮製品・サービスの売上高拡大	スーパーエコプロダクツの総売上高比率を30%に拡大	2025年度実績	18.3% ★		○
「印刷・加工用紙調達ガイドライン」適合品調達率	「印刷・加工用紙調達ガイドライン」適合証明書取得率100%を達成	2025年度実績	99.9%		◎
環境保全	大気排出規制項目の最大濃度を規制基準の70%以下に維持	2025年度実績	100%		○
	排水規制項目の最大濃度を規制基準の70%以下に維持	2025年度実績	99.4%		○
	敷地境界における最大臭気を規制基準の70%以下に維持	2025年度実績	98.4%		○
	敷地境界における最大騒音レベルを規制基準の70%以下に維持	2025年度実績	97.7%		○
	敷地境界における最大振動レベルを規制基準の70%以下に維持	2025年度実績	100%		○

E01_気候変動への対応

DNPグループのGHG排出量

		単位	2019年度[*1]	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
Scope1排出量	直接排出	千トン-CO_2e	367	346	321	310	323	310	★
Scope2排出量	エネルギー起源の間接排出(マーケット基準)	千トン-CO_2e	695	566	550	535	543	409	★
	エネルギー起源の間接排出(ロケーション基準)	千トン-CO_2e	645	551	526	521	536	531	★
Scope1+2排出量（Scope2排出量：マーケット基準）		千トン-CO_2e	1,062	912	871	846	866	719	★
種類別GHG排出量	エネルギー起源CO_2	千トン-CO_2e	924	779	742	724	742	593	
	非エネルギー起源CO_2	千トン-CO_2e	135	131	126	120	120	123	
	メタン(CH_4)	千トン-CO_2e	0.03	0.39	0.35	0.38	0.35	0.25	
	一酸化二窒素(N_2O)	千トン-CO_2e	0.46	0.50	0.47	0.18	0.17	0.13	
	ハイドロフルオロカーボン類(HFC)	千トン-CO_2e	0.00	0.61	2.35	1.53	3.68	1.99	
	パーフルオロカーボン類(PFC)	千トン-CO_2e	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
	六フッ化硫黄(SF_6)	千トン-CO_2e	2.65	0.02	0.00	0.00	0.05	0.35	
	三フッ化窒素(NF_3)	千トン-CO_2e	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
原単位：（Scope1+2排出量）／売上高（Scope2排出量：マーケット基準）		トン-CO_2e/億円	74.7	67.8	63.4	61.9	59.4	47.5	

国内での電気・蒸気の使用、燃料の使用・燃焼、廃棄物の焼却、HFC・PFC・SF_6・NF_3の大気放出により排出されるGHGを「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1(2026年3月)」に基づき算定しました（GHG排出量が極めて少ない一部の排出源は除外）。
2025年度の国内の電気の排出係数については、電気事業者別排出係数（令和6年度実績）公表に基づき、電力会社ごとの排出係数を使用しました。海外においても電力会社ごとの排出係数を使用しました（電力会社情報などが得られない一部の事業所においては、国別の排出係数を使用しています）。
VOC燃焼由来のGHG排出量をScope1に含めています。
グループ企業の輸送にともなうScope1排出量はScope3として集計しています。
*1 目標の基準年度である2019年度に、シミックCMO㈱の実績を加算しています。

E01_気候変動への対応

サプライチェーン全体の温室効果ガス排出量

		単位	2019年度	2021年度*2	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
Scope3排出量	カテゴリ 1 購入した製品・サービス	千トン-CO_2e	3,167	–	3,098	2,909	2,645	2,569	★
	カテゴリ 2 資本財	千トン-CO_2e	111	–	163	128	134	172	★
	カテゴリ 3 Scope1・2に含まれない燃料およびエネルギー活動	千トン-CO_2e	158	–	140	136	144	139	★
	カテゴリ 4 輸送、配送（上流）	千トン-CO_2e	199	–	188	184	174	168	★
	カテゴリ 5 事業から出る廃棄物	千トン-CO_2e	32	–	28	27	27	28	★
	カテゴリ 6 出張	千トン-CO_2e	13	–	9	12	13	14	★
	カテゴリ 7 雇用者の通勤	千トン-CO_2e	18	–	27	26	28	26	★
	カテゴリ 8 リース資産（上流）	千トン-CO_2e	–	–	–	–	–	–	
	カテゴリ 9 輸送、配送（下流）	千トン-CO_2e	670	–	626	583	555	567	★
	カテゴリ10 販売した製品の加工	千トン-CO_2e	–	–	–	–	–	–	
	カテゴリ11 販売した製品の使用	千トン-CO_2e	197	–	152	102	162	261	★
	カテゴリ12 販売した製品の廃棄	千トン-CO_2e	522	–	465	445	432	430	★
	カテゴリ13 リース資産（下流）	千トン-CO_2e	–	–	–	–	–	–	
	カテゴリ14 フランチャイズ	千トン-CO_2e	–	–	–	–	–	–	
	カテゴリ15 投資	千トン-CO_2e	24	–	19	18	18	20	
Scope3排出量 合計		千トン-CO_2e	5,111	–	4,915	4,573	4,331	4,394	
Scope3排出量(カテゴリ1・3・4・5)		千トン-CO_2e	3,556	–	3,454	3,257	2,990	2,904	★
Scope1+2+3排出量（Scope2排出量：マーケット基準）		千トン-CO_2e	6,173	–	5,786	5,419	5,197	5,113	

【算定方法】
環境省・経済産業省が定めたGHG排出量の算定方法に関するガイドライン「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドラインVer2.7」に準拠し算定しました。
IDEAの原単位を使用しています（2025年度：「IDEA Ver.3.5」）。
・グループ企業の輸送にともなうScope1排出量はカテゴリ4に含めています。カテゴリ8はScope1・2に含めています。
・カテゴリ10は最終製品の構成割合が微小なため、算定除外としました。カテゴリ13・14は非該当です。

【算定範囲】
大日本印刷および財務会計上の連結対象のグループ会社（ただし、北海道コカ・コーラグループおよび書店グループを除いています）

*2 SBT取得時にバウンダリを拡大、2019年及び2022年度以降は同じバウンダリで算定しています 。2020年～2021年はバウンダリが異なるため「－」表示としています。

E01_気候変動への対応

エネルギー投入量

		単位	2019年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
電気	再エネ電気＋非再エネ電気	千MWh	1,297	1,190	1,147	1,139	1,208	1,210	★
	再エネ電気（再エネ証書利用含む）	千MWh	1	3	3	11	51	397	★
	再エネ比率*3	%	0.1	0.2	0.3	0.9	4.2	32.9	★
都市ガス		千m^3	67,620	66,530	58,510	56,470	56,500	53,570	★
LNG		千kg	18,290	18,240	17,380	17,060	21,220	21,900	★
LPG		千kg	5,880	5,600	5,270	4,350	4,060	3,720	★
重油		kL	548	682	585	572	780	748	★
灯油		kL	1,210	1,350	1,180	980	530	580	★
蒸気		TJ	32	29	32	36	65	76	★

*3 再エネ比率:再エネ電気使用量÷電気合計

輸送（国内）

	単位	2019年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
輸送用燃料使用量*4	原油換算kL	18,000	16,400	15,700	14,800	14,800	14,500	★
輸送用燃料使用量売上高原単位	kL／億円	1.28	1.22	1.14	1.04	1.02	0.96	★

*4 国内の荷主輸送にともなう量。

E02_資源循環

材料投入量

		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
主要原材料	紙	千トン	666.9	619.4	505.0	485.8	451.7	★
	フィルム	千トン	195.4	163.8	146.5	137.9	130.0	★
	樹脂	千トン	129.0	158.8	159.7	153.8	153.9	★
	金属	千トン	60.5	57.0	56.5	51.7	55.1	★
	インキ	千トン	102.7	54.3	52.6	50.1	52.3	★
	その他	千トン	73.1	70.4	68.9	75.8	75.6	★
主要副資材(国内)	溶剤	千トン	26.0	24.7	25.1	23.3	26.1	★
	酸・アルカリ	千トン	8.0	7.4	8.3	10.3	10.1	★

不要物(廃棄物+有価物)排出量

	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
不要物総排出量	千トン	264	245	247	219	225	★
不要物総排出量(資源を除く量)*1	千トン	75.8	67.7	60.9	59.9	61.4	★
不要物総排出量売上高原単位	トン/億円	19.6	17.8	17.4	15.0	14.9	
廃棄物排出量	千トン	55.1	50.5	46.6	47.0	44.5	★

・［E10_開示対象サイト一覧］に記載の国内外グループ会社の製造拠点を集計範囲としました。国内に限定している場合は、括弧書きで国内と記載しました。
・2025年度実績に㈱DNP高機能マテリアル彦根を含みます。

*1 紙くずを含め資源としてリサイクルされた量を除く不要物総排出量

E02_資源循環

資源循環率

		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
全体	**資源循環率**[*2]	%	56.3	58.0	62.4	63.5	65.9	★
	資源循環量[*3]	千トン	71	68	69	72	76	★
	除紙不要物量[*4]	千トン	125	117	111	114	115	★
プラスチック(国内)	資源循環率	%	29.4	32.2	40.0	40.5	46.1	
	資源循環量	千トン	14	14	16	17	20	
	不要物量	千トン	47	44	41	42	43	

最終処分場利用率

	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
最終処分場利用率(国内)[*5]	%	0.05	0.03	0.04	0.10	0.13	★
最終処分場利用量(国内)	トン	109	68	79	199	259	★
最終処分場利用量	千トン	5.0	4.9	4.9	4.5	4.9	★

・2025年度実績に㈱DNP高機能マテリアル彦根を含みます。

*2 資源循環率　資源循環量 ÷ 除紙不要物量×100
*3 資源循環量　除紙不要物量のうち、マテリアルリサイクルまたはケミカルリサイクルされた量
*4 除紙不要物量　不要物（廃棄物＋有価物）から紙有価物量および汚泥のサイト内中間処理量を除外した不要物量
*5 最終処分場利用率　最終処分場利用量（直接＋間接）÷不要物総排出量×100

E02_資源循環

有害性有無による不要物の内訳

			単位	2021年度*10	2022年度*10	2023年度	2024年度	2025年度
有害性のある不要物(国内)*6	内訳	リサイクル量*8	千トン	-	-	15.6	16.3	17.1
		最終処分利用量	千トン	-	-	0.0	0.0	0.0
		その他*9	千トン	-	-	0.5	0.5	0.5
有害性のない不要物(国内)*7	内訳	リサイクル量	千トン	-	-	184.6	156.7	159.0
		最終処分利用量	千トン	-	-	0.1	0.2	0.3
		その他	千トン	-	-	20.0	19.3	22.8
合計(国内)	内訳	リサイクル量	千トン	-	-	200.2	172.9	176.2
		最終処分利用量	千トン	-	-	0.1	0.2	0.3
		その他	千トン	-	-	20.5	19.7	23.3

・2025年度実績に㈱DNP高機能マテリアル彦根を含みます。

*6 有害性のある不要物　特別管理産業廃棄物
*7 有害性のない不要物　特別管理産業廃棄物以外の不要物
*8 リサイクル量　マテリアルリサイクル量、ケミカルリサイクル量、サーマルリサイクル量の合計
*9 その他　リサイクル量および最終処分場利用量以外の排出量
*10 2023年度より集計を開始したため、実績データなし

E03_水資源の有効利用

取水量（水使用量）

取水源	地域	単位	2019年度[*1]	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
地表水 (上水・工業用水)	日本	千m^3	5,090	4,010	3,680	3,690	4,670	4,649	
	欧州	千m^3	60	60	60	60	60	60	
	北米	千m^3	70	80	70	70	90	104	
	その他アジア	千m^3	450	230	210	220	240	229	
	小計	千m^3	5,670	4,380	4,020	4,040	5,060	5,042	
地下水	日本	千m^3	3,910	3,400	3,270	3,260	4,000	3,959	
	欧州	千m^3	1	2	1	2	2	2	
	北米	千m^3	0	0	0	0	0	0	
	その他アジア	千m^3	0	0	0	0	0	0	
	小計	千m^3	3,910	3,400	3,270	3,260	4,000	3,961	
河川水	日本	千m^3	0	0	0	0	0	0	
	欧州	千m^3	0	0	0	0	0	0	
	北米	千m^3	0	0	0	0	0	0	
	その他アジア	千m^3	0	0	0	0	0	0	
	小計	千m^3	0	0	0	0	0	0	
海水	日本	千m^3	0	0	0	0	0	0	
	欧州	千m^3	0	0	0	0	0	0	
	北米	千m^3	0	0	0	0	0	0	
	その他アジア	千m^3	0	0	0	0	0	0	
	小計	千m^3	0	0	0	0	0	0	
水使用量合計		千m^3	9,580	7,820	7,290	7,300	9,060	9,003	★
水使用量原単位		m^3/百万円	6.73	5.81	5.31	5.12	6.21	5.95	★

E03_水資源の有効利用

排水量

排水先	地域	単位	2019年度[*1]	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
公共水域	日本	千m^3	4,230	2,690	2,440	2,580	3,950	3,820	
	欧州	千m^3	0	0	0	0	0	0	
	北米	千m^3	0	0	0	0	0	0	
	その他アジア	千m^3	80	50	50	40	40	20	
	小計	千m^3	4,310	2,740	2,490	2,620	3,990	3,840	
下水道	日本	千m^3	2,700	3,050	2,910	2,630	2,800	2,800	
	欧州	千m^3	60	60	60	60	60	60	
	北米	千m^3	70	80	70	70	90	100	
	その他アジア	千m^3	370	180	160	170	200	210	
	小計	千m^3	3,200	3,370	3,200	2,930	3,150	3,170	
地下浸透	日本	千m^3	0	0	0	0	0	0	
	欧州	千m^3	0	0	0	0	0	0	
	北米	千m^3	0	0	0	0	0	0	
	その他アジア	千m^3	0	0	0	0	0	0	
	小計	千m^3	0	0	0	0	0	0	
排水量合計		千m^3	7,510	6,110	5,690	5,550	7,140	7,010	★
排水量原単位		m^3/百万円	5.36	4.55	4.14	3.90	4.90	4.64	

水の有効利用（国内）

		単位	2019年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
雨水利用量	オフィスビルなどの雨水利用量	m^3	22,500	26,700	23,900	21,400	22,000	16,200
循環利用量[*2]	国内拠点の工場用水の循環利用量	千m^3	249,880	213,560	219,210	268,290	303,630	307,490

*1 2019年度実績にシミックCMO㈱の実績を含みます。
*2 循環利用量　クローズド循環システム内の熱交換器や洗浄装置を通過する1年間の水の流量を集計しました。

E04_環境配慮製品・サービス

環境配慮製品・サービスの拡大

	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
スーパーエコプロダクツ[*1]の売上高	億円	1,348	1,631	1,706	2,189	2,761	★
スーパーエコプロダクツの総売上高比率	%	10.0	11.9	12.0	15.0	18.3	★

*1 DNP独自の評価により特定された、環境配慮に優れた製品・サービス

E05_汚染防止

大気汚染物質排出量

	単位	2019年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
VOC大気排出量	トン	14,300	14,600	13,200	13,400	12,900	12,800
VOC大気排出量売上高原単位	トン/億円	1.02	1.01	0.960	0.940	0.880	0.840

大気汚染物質排出量(国内)

		単位	2019年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
ジクロロメタン[*1]		トン	0.0100	0.00	0.0100	0.00	0.00	0.00
ダイオキシン類[*2]		mg-TEQ	22.4	23.7	22.7	26.7	21.2	24.6
SOx[*3]		トン	6.5	4.9	4.7	5.5	9.0	4.3
NOx[*4]		トン	506	474	447	440	464	461
VOC大気排出量		トン	3,740	3,680	3,640	4,060	3,980	4,210
（内訳）	PRTR 法[*5] 対象	トン	378	396	443	528	529	526
	PRTR 法対象外	トン	3,360	3,290	3,200	3,530	3,450	3,690

水質汚染物質排出量(国内)

	単位	2019年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
COD	トン	26.8	18.1	17.8	19.3	16.0	16.8
窒素	トン	4.60	5.0	4.70	4.80	4.40	4.00
リン	トン	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200	0.150

*1 主に印刷工程の洗浄で使用していたが切り替えを推進し、2013年に洗浄用途での使用を全廃しました。現在は研究所など一部で使用していますが排出濃度は極めて低くなっています。
*2 燃焼管理が難しい小型焼却炉を廃止し、現在は2002年の規制を満たした大型廃熱回収焼却炉が全国で4台稼働しています。
*3 硫黄分を含む重油や灯油などの燃料から発生。
*4 生産工程での燃料の消費や電力の消費などにともない発生。
*5 PRTR法：「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」

E06_化学物質管理(PRTR制度対象化学物質一覧)

（単位：kg ／ ダイオキシンのみmg-TEQ）

物質名	取扱量	消費量	除去処理量	リサイクル量	大気へ	公共水域	土壌	下水道	廃棄物
2-アミノエタノール	49,000	-	-	-	-	-	-	-	49,000
3-イソシアナトメチル-3，5，5-トリメチルシクロヘキシル＝イソシアネート	2,100	2100	2	-	0	-	-	-	-
エチルベンゼン	180,000	-	120000	51000	1500	-	-	-	1900
エチレンジアミン	1,400	720	100	-	5	-	-	-	610
キシレン	160,000	-	110000	45000	2200	-	-	-	2500
クメン	3,400	-	3,300	-	59	-	-	-	-
クロム及び三価クロム化合物	20,000	7300	-	5500	-	-	-	-	7200
六価クロム化合物	6,000	3,500	2,500	-	-	-	-	-	18
クロロホルム	1,000	1,400	100	-	-	-	-	-	-
酢酸2-エトキシエチル	1,200	-	1,200	-	6	-	-	-	-
無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く。)	3,800	-	330	-	460	-	-	-	3,000
ジクロロメタン	15,000	14,000	8,000	-	-	-	-	-	-
N，N-ジメチルホルムアミド	160,000	-	12,000	32,000	400	-	-	-	110,000
スチレン	1000	430	2	-	0	-	-	-	600
ダイオキシン類	-	-	-	-	25	-	-	-	97
チオ尿素	1,700	-	1,700	-	-	-	-	-	-
銅水溶性塩(錯塩を除く。)	160,000	29,000	26000	100000	-	-	-	-	440
ドデシル硫酸ナトリウム	5,000	6200	-	-	-	-	-	-	-
トリエチルアミン	4,100	-	290	-	15	-	-	-	3,800
トルエン	8,400,000	1300000	5,200,000	410,000	460000	-	-	-	1000000
ナフタレン	10,000	-	8800	1,500	52	-	-	-	73
ニッケル	32,000	13,000	-	18000	3	-	-	-	1,200
ニッケル化合物	5,200	1,300	-	-	-	-	-	-	3900
ヒドラジン	1,500	1400	1	-	0	-	-	-	74
ヘキサン	42,000	-	4600	-	760	-	-	-	37000
ベンゾフェノン	2,100	2,100	-	-	-	-	-	-	-
ほう素化合物	1,900	-	-	-	-	35	-	-	1,900
ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(※)	3,700	5,600	-	-	-	-	-	-	25
ホルムアルデヒド	780	-	170	-	600	-	-	-	-
マンガン及びその化合物	2,900	660	-	270	-	-	-	100	1,900

※有効数字は2桁。ただし、1未満の場合は0.1まで記載

E06_化学物質管理(PRTR制度対象化学物質一覧)

（単位：kg ／ ダイオキシンのみmg-TEQ）

物質名	取扱量	消費量	除去処理量	リサイクル量	大気へ	公共水域	土壌	下水道	廃棄物
メタクリル酸	40,000	38,000	1,800	-	99	-	-	-	140
メタクリル酸メチル	60,000	57,000	2,100	-	140	-	-	-	810
メチルナフタレン	3,300	-	1,300	-	6	-	-	-	-
メチレンビス(4，1-フェニレン)＝ジイソシアネート	13,000	13,000	-	-	-	-	-	-	-
エチレングリコールモノブチルエーテル	140,000	7,300	120,000	250	110	-	-	-	14,000
過塩素酸並びにそのアンモニウム塩、カリウム塩、ナトリウム塩、マグネシウム塩及びリチウム塩	1,400	1,300	-	-	-	-	-	-	52
ジエタノールアミン	1,200	-	1,000	-	13	-	-	-	160
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	1,100	-	1,100	-	5	-	-	-	-
シクロヘキサン	56,000	6,900	42000	6	1200	-	-	-	5,400
セリウム及びその化合物	7,300	6,000	-	-	-	-	-	-	1,300
テトラヒドロフラン	64,000	-	30,000	430	2200	-	-	-	31,000
テトラメチルアンモニウム＝ヒドロキシド	50,000	-	5200	-	110	-	-	-	45,000
ドデカン－１－チオール	5,700	5400	260	-	28	-	-	-	-
トリメチルベンゼン	47,000	150	33,000	9,900	3800	-	-	-	480
ビス（２－エチルヘキシル）＝（Ｚ）－ブタ－２－エンジオアート	1,100	-	910	-	68	-	-	-	160
（Ｔ－４）－ビス［２－（チオキソ－カッパＳ）－ピリジン－１（２Ｈ）－オラト－カッパＯ］亜鉛	3,500	3,400	-	-	-	-	-	-	85
ターシャリーブチル＝２－エチルペルオキシヘキサノアー	4,600	4400	140	-	16	-	-	-	24
２－ターシャリーブトキシエタノール	1,800	-	-	-	-	-	-	-	1800
ヘキサンジヒドラジド	21,000	21000	-	-	-	-	-	-	520
ヘプタン	4,500	-	310	-	34	-	-	-	4,200
メチルイソブチルケトン	960,000	96000	710,000	26,000	41,000	-	-	-	87,000
Ｎ－メチル－２－ピロリドン	48,000	120	31,000	2,000	6,200	-	-	-	9,500
PRTR対象物質計	**10,820,000**	**1,663,000**	**6,469,000**	**708,000**	**526,600**	**30**	**-**	**100**	**1,457,600**

※有効数字は2桁。ただし、1未満の場合は0.1まで記載

・［E10_開示対象サイト一覧］に記載の国内グループ会社の製造拠点を集計範囲としました。

E07_環境マネジメント関連

主な環境教育の実施状況

教育名	コース名/研修内容	開講年度	対象者	受講者数			
				2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
新入社員導入教育 （入社時）	環境対応（必須） 環境問題の基礎知識とDNPの環境保全への取り組み	1994	新入社員全員	249	273	281	287
ビジネススキルセミナー （年1回）	環境・化学物質（選択） 各種環境諸法令 廃棄物管理	1999	業務に関係する社員	95	112	89	115
モノづくりスキル セミナー （随時）	環境 DNPの環境への取り組み	2023	生産活動に関わる全職種 管理職班長までの全社員	—	5,354	—	—
DNPラーニング ポータル （年1回）	DNP環境教育 DNPグループ環境方針、環境への取り組み （省エネ・再エネ推進/水使用量削減推進/資源循環推進 など）	2024	全社員 （ネットワークID保有社員）	—	—	23,380	22,829

サイトのエコ監査（内部環境監査）実績

		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エコ監査の実績	被監査サイト数	サイト	62	62	60	61	67
	被監査サイト出席者数	名	460	512	447	494	536
	延べ監査人数	名	81	92	110	112	428
	延べ監査時間	時間	155	139	186	207	220

法令遵守の状況

		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
法令・条例違反[*1]	規制値超過	件	1	0	1	0	0
	法令・条例違反数	件	0	0	0	0	0

*1 行政により改善報告の提出を指示された案件に限る

E08_認証取得状況

認証取得状況

		単位	2023年度	2024年度	2025年度
ISO14001認証	ISO14001認証取得率(グローバル)	%	–	62	62
	ISO14001認証取得数(グローバル)	サイト	–	53	53
	ISO14001認証取得率(国内)	%	–	60	60
	ISO14001認証取得数(国内)	サイト	–	44	44
エコアクション21認証	エコアクション21認証取得数（国内）	サイト	–	2	2
ISCC PLUS認証	ISCC PLUS認証取得数（国内）	サイト	–	1	2

* 最新の取得一覧　ISO14001/森林/ISCC PLUS 認証取得状況 | DNP 大日本印刷

E09_環境会計

環境保全コスト（事業活動に応じた分類）

分類	投資額（単位：百万円）		費用額（単位：百万円）		主な取り組みの内容
	2024年度	2025年度	2024年度	2025年度	
（1）事業エリア内コスト					
① 公害防止コスト	630	119	857	919	VOC 回収・除去装置、排水処理施設
② 地球環境保全コスト	2,401	4,433	541	893	省エネ設備、省エネ型照明へ切替
③ 資源循環コスト	137	34	4,946	1,609	焼却炉整備、分別リサイクル、ゼロエミッション（RPF・セメント原料化）、資源循環利用
（事業エリア内コスト計）	3,167	4,586	6,344	3,421	
（2）上・下流コスト	0	0	151	145	容器包装リサイクル費用負担、リサイクルシステム開発
（3）管理活動コスト	19	0	2,246	3,133	ISO14001 審査登録費用、環境教育費用、環境報告書作成費用
（4）研究開発コスト	0	0	5,739	6,501	環境に配慮した製品および生産方式の研究開発
（5）社会活動コスト	0	0	16	16	工場敷地外の環境保全、生物多様性保全、環境保全団体活動支援
（6）環境損傷対応コスト	0	0	6	5	モニタリング
合計	3,186	4,586	14,502	13,221	

全コストに占める環境保全コストの割合

分類	連結会計（単位：百万円）	環境保全（単位：百万円）	環境比率
当該期間（2025年度）の投資額	87,700	4,586	5.23%
当該期間（2025年度）の研究開発費	42,200	6,501	15.41%

E09_環境会計

事業エリア内コストに対応する効果

環境保全効果の分類		効果を表す指標の分類	指標の値			注釈
			2024年度	2025年度	前年比較	
① 事業活動に投入する資源に関する環境保全効果						
	総エネルギーの投入	エネルギー消費量(TJ)	14,370	14,120	-250	
		売上高原単位(TJ/億円)	0.99	0.93	-0.06	売上高1億円当たりのエネルギー消費量
	水の投入	水の使用量(千m^3)	9,060	9,003	-57	
		売上高原単位(千m^3/億円)	0.621	0.595	-0.026	売上高1億円当たりの水の使用量
	主要原材料の投入	投入量(千トン)	955	919	-37	
		不要物総排出量／投入量(%)	22.9	24.5	1.6	主要原材料に対する不要物の割合
② 事業活動から排出する環境負荷及び不要物に関する環境保全効果						
	大気への排出	SOx排出量(トン)*	9.0	4.3	-4.7	
		NOx排出量(トン)*	464	461	-3	
		環境負荷物質排出量(トン)	12,878	12,772	-106	VOCの排出量
	水域への排出	COD排出量(トン)*	16.0	16.8	0.8	
		環境負荷物質排出量(PRTR対象物質)(トン)	0.2	0.3	0.1	報告対象となる物質なし
	不要物の排出	不要物総排出量(千トン)	219	225	6	
		廃棄物排出量(千トン)	47.0	44.5	-2.5	
		売上高原単位(トン/億円)	15.0	14.9	-0.1	売上高1億円当たりの不要物総排出量
		リサイクル率(%)*	98.5	98.5	0.0	不要物総排出量に対する主要不要物のリサイクル量の割合 個別では、紙99.9%、プラ95.6%、金属99.4%
		環境負荷物質移動量(PRTR対象物質)(トン)*	1,534	1,458	-76	報告対象となる28物質の合計
	温室効果ガスの排出	温室効果ガス排出量(千トン-CO_2e)	866	719	-147	
		売上高原単位(トン-CO_2e/億円)	59.4	47.5	-11.9	売上高1億円当たりのCO_2排出量

*国内限定

E09_環境会計

事業エリア内コストに対応する効果

環境保全効果の分類	効果を表す指標の分類	指標の値			注釈
		2024年度	2025年度	前年比較	
③ 事業活動から産出される財・サービスに関する環境保全効果					
製品出荷後のCO_2排出	CO_2排出量(千トン-CO_2e)	1,158	1,288	130	Scope3のカテゴリ4の一部、9、10、11および12の合計値
	CO_2排出量／国内販売額(千トン-CO_2e/億円	0.079	0.085	0.006	国内販売額1億円当たりのCO_2排出量
④ その他の環境保全効果					
輸送環境負荷に関する効果	製品等輸送時のエネルギー使用量(kL)*	14,800	14,500	-300	荷主としての輸送時の原油換算のエネルギー使用量
	輸送時のエネルギー使用量／売上高(kL/億円)	1.02	0.96	-0.06	売上高1億円当たりの排出量

*国内限定

環境保全対策に伴う経済効果

経済効果の内容	金額(単位：百万円)			注釈
	2024年度	2025年度	前年比較	
売上増加 ：研究開発コストに対応する経済効果				
環境配慮製品・サービス売上高	218,919	276,148	57,229	
収益増加 ：資源循環コストに対応する経済効果				
不要物のリサイクルによる事業収入*	1,900	1,912	12	廃プラ・廃油などの売却額

*国内限定

E10_製造拠点（国内）

（2026年3月31日現在の社名、組織名を使用）

所在地		No.	事業部門	サイト名	事業内容
北海道	札幌市東区	[1]	スマートコミュニケーション	(株)DNPマーコムプロダクツ 札幌工場 (株)DNPデータテクノ 札幌工場	印刷・製本セキュア事業関連製品の製造
		[2]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNPテクノパック 札幌工場	包装用品の製造
	札幌市清田区	[3]	ライフ＆ヘルスケア	北海道コカ・コーラプロダクツ(株) 札幌工場	飲料の製造
岩手県	八幡平市	[4]	ライフ＆ヘルスケア	シミックCMO(株) 西根工場	医薬品等の製剤開発
	北上市	[5]	エレクトロニクス	ディー・ティー・ファインエレクトロニクス(株) 北上工場	電子精密部品製造
宮城県	仙台市宮城野区	[6]	スマートコミュニケーション	(株)DNPマーコムプロダクツ 仙台工場	印刷・製本
福島県	西白河郡泉崎村	[7]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNPテクノパック 泉崎工場	包装用品の製造
		[8]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNP高機能マテリアル 泉崎工場	太陽電池用充填材の製造
茨城県	牛久市	[9]	スマートコミュニケーション	(株)DNPデータテクノ 牛久工場	セキュア事業関連製品の製造
	つくば市	[10]	その他	(株)DNPエンジニアリング つくばテクノセンター	印刷機械・工作機械製造
栃木県	栃木市	[11]	スマートコミュニケーション	(株)DNPマーコムプロダクツ 宇都宮工場	印刷・製本
		[12]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNPテクノパック 宇都宮工場	包装用品の製造
		[13]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNPファインケミカル宇都宮	医薬品原薬等の製造
	足利市	[14]	ライフ＆ヘルスケア	シミックCMO(株) 足利工場	医薬品等の製剤開発
群馬県	館林市	[15]	スマートコミュニケーション	(株)DNPマーコムプロダクツ 館林工場	印刷・製本
埼玉県	東松山市	[16]	スマートコミュニケーション	大口製本印刷(株) 東松山工場	製本
	白岡市	[17]	スマートコミュニケーション	(株)DNP出版プロダクツ 白岡工場 (株)DNPマーコムプロダクツ 白岡工場	印刷・製本
	入間郡三芳町	[18]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNPモビリティ&リビング 東京工場	建材製品の製造・印刷・加工
		[19]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNP高機能マテリアル 鶴瀬工場	リチウムイオン電池用部材の製造
		[20]	スマートコミュニケーション	大口製本印刷(株) 三芳工場	製本
	蕨市	[21]	スマートコミュニケーション	(株)DNPデータテクノ 蕨工場	セキュア事業関連製品の製造
	狭山市	[22]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNPテクノパック 狭山軟包装	包装用品の製造
		[23]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNPテクノパック 狭山紙器	包装用品の製造
		[24]	スマートコミュニケーション	(株)DNPイメージングコム 狭山工場	昇華型・溶融型熱転写記録材の製造・加工
	ふじみ野市	[25]	エレクトロニクス	(株)DNPファインオプトロニクス 上福岡工場	電子精密部品製造
	久喜市	[26]	スマートコミュニケーション	(株)DNP出版プロダクツ 久喜工場	印刷・製本
		[27]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNP高機能マテリアル 久喜工場	電池部材等の製造
千葉県	柏市	[28]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNPテクノパック 柏工場	包装用品の製造
東京都	新宿区	[29]	スマートコミュニケーション	(株)DNPマーコムプロダクツ 榎町工場	印刷・製本
	北区	[30]	スマートコミュニケーション	(株)DNPマーコムプロダクツ 神谷工場	各種広告宣伝物製造
		[31]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNP包装	充填および包装加工
		[32]	スマートコミュニケーション	(株)DNPコアライズ 神谷ソリューションセンター	BPOサービス

E10_製造拠点（国内）

所在地		No.	事業部門	サイト名	事業内容
神奈川県	川崎市	[33]	エレクトロニクス	ディー・ティー・ファインエレクトロニクス(株) 川崎工場	電子精密部品製造
	横浜市都築区	[34]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNPテクノパック 横浜工場	包装用品の製造
	横浜市緑区	[35]	その他	(株)DNPファインケミカル 東京工場	化成品等の製造
	小田原市	[36]	ライフ＆ヘルスケア	相模容器(株) 小田原工場	各種プラスチックチューブの製造
	愛甲郡愛川町	[37]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNPエリオ 東京工場	金属板印刷・加工
富山県	射水市	[38]	ライフ＆ヘルスケア	シミックCMO(株) 富山工場	医薬品等の製剤開発
石川県	白山市	[39]	その他	(株)DNPエンジニアリング 北陸テクノセンター	セキュア事業関連製品の製造
岐阜県	下呂市	[40]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNP田村プラスチック 萩原工場	自動車用品・各種プラスチック製品の製造
静岡県	島田市	[41]	ライフ＆ヘルスケア	シミックCMO(株) 静岡工場	医薬品等の製剤開発
	磐田市	[42]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNP田村プラスチック 磐田工場	自動車用品・各種プラスチック製品の製造
愛知県	名古屋市守山区	[43]	スマートコミュニケーション	(株)DNPマーコムプロダクツ 名古屋工場	印刷・製本
	名古屋市緑区	[44]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNP光金属	自動車用品・各種プラスチック製品の製造
	豊橋市	[45]	ライフ＆ヘルスケア	(株)巴樹脂	プラスチック射出成形品の製造販売
滋賀県	彦根市	[46]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNP高機能マテリアル彦根	リチウムイオン電池用部材の製造
京都府	京都市南区	[47]	スマートコミュニケーション	(株)DNPデータテクノ 京都南工場	セキュア事業関連製品の製造
	京田辺市	[48]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNPテクノパック 京田辺工場	包装用品の製造
大阪府	寝屋川市	[49]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNPテクノパック 寝屋川工場	包装用品の製造
		[50]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNPエリオ 大阪工場	金属板印刷・加工
		[51]	スマートコミュニケーション	(株)DNPマーコムプロダクツ 寝屋川工場	各種広告宣伝物製造
	門真市	[52]	スマートコミュニケーション	(株)DNPメディアサポート	各種印刷物の製造
兵庫県	小野市	[53]	スマートコミュニケーション	(株)DNPマーコムプロダクツ 小野工場	印刷・製本
奈良県	磯城郡川西町	[54]	スマートコミュニケーション	(株)DNPデータテクノ 奈良工場	セキュア事業関連製品の製造
岡山県	岡山市	[55]	スマートコミュニケーション	(株)DNPイメージングコム 岡山工場	昇華型熱転写記録材製造
		[56]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNPモビリティ&リビング 岡山工場	建材製品の製造・印刷・加工
		[57]	エレクトロニクス	(株)DNPファインオプトロニクス 岡山工場	電子部品の製造
	笠岡市	[58]	その他	(株)DNPファインケミカル 笠岡工場	化成品等の製造
広島県	三原市	[59]	エレクトロニクス	(株)DNPファインオプトロニクス 三原東工場	電子精密部品製造
		[60]	エレクトロニクス	(株)DNPファインオプトロニクス 三原西工場	電子部品の製造
徳島県	徳島市	[61]	その他	(株)DNP四国	製版・印刷・製本
香川県	坂出市	[62]	ライフ＆ヘルスケア	相模容器(株) 坂出工場	各種プラスチックチューブの製造
福岡県	北九州市八幡西区	[63]	エレクトロニクス	(株)DNPファインオプトロニクス 黒崎工場	電子精密部品製造
		[64]	スマートコミュニケーション	(株)DNPデータテクノ 黒崎工場	セキュア事業関連製品の製造
	北九州市戸畑区	[65]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNP高機能マテリアル 戸畑工場	リチウムイオン電池用部材の製造
	福岡市南区	[66]	スマートコミュニケーション	(株)DNPマーコムプロダクツ 福岡工場	印刷・製本
	筑後市	[67]	ライフ＆ヘルスケア	(株)DNPテクノパック 筑後工場	包装用品の製造

事業部門「その他」は、他の3部門に該当しない製品、または複数部門の製品を製造しているグループ会社です。

E10_製造拠点（海外）

（2026年3月31日現在の社名、組織名を使用）

国	都市	No.	事業部門	サイト名	事業内容
イタリア	アグラテ	[1]	エレクトロニクス	DNP Photomask Europe S.p.A.	半導体フォトマスクの製造
デンマーク	カールスルンデ	[2]	ライフ＆ヘルスケア	DNP Denmark A/S	リチウムイオン電池用部材の製造・加工
オランダ	アムステルダム	[3]	スマートコミュニケーション	DNP Imagingcomm Europe B.V.	昇華型・溶融型熱転写記録材の製造
アメリカ	コンコード	[4]	スマートコミュニケーション	DNP Imagingcomm America Corporation	昇華型・溶融型熱転写記録材の製造
	ピッツバーグ	[5]	スマートコミュニケーション	DNP Imagingcomm America Corporation	昇華型・溶融型熱転写記録材の製造
	クランベリー	[6]	ライフ＆ヘルスケア	CMIC CMO USA Corporation	医薬品等の製剤開発
マレーシア	ジョホールバル	[7]	スマートコミュニケーション	DNP Imagingcomm Asia Sdn.Bhd.	昇華型・溶融型熱転写記録材の製造
インドネシア	プロガドン	[8]	ライフ＆ヘルスケア	PT DNP Indonesia	包装用品の製造
	カラワン	[9]	ライフ＆ヘルスケア	PT DNP Indonesia	包装用品の製造
ベトナム	ビンズン省	[10]	ライフ＆ヘルスケア	DNP Vietnam Co.,Ltd.	包装用品の製造
韓国	プチョン	[11]	ライフ＆ヘルスケア	CMIC CMO Korea Co.,Ltd.	医薬品等の製剤開発
中国	江蘇省	[12]	ライフ＆ヘルスケア	Hikari Tanyou Co.,Ltd.	自動車用品・各種プラスチック製品の製造

[1],[2],[4],[5],[6],[7],[11],[12] ：2025年4月～ 2026年3月集計　[3],[8],[9],[10]：2025年1月～ 2025年12月集計